日本火災学会　長岡大会記念講演会のご案内

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　一般社団法人新潟県建築士会

**新たな時代の木造建築の可能性**

　　　　　　　～防火技術・制度から考える～

5月16日17日と長岡市で日本火災学会が開催される機会に長年日本の第一人者として木造建築物の研究に携わってきた長谷見雄二早稲田大学教授をお招きして標記講演会を開催することにいたしました。大変貴重な機会ですのでふるってご参加ください。

共催　公益社団法人日本火災学会　長岡市　一般社団法人新潟県建築士会

日時　5月15日　18：30から20：30（18：00受付開始）

会場　アオーレ長岡　市民交流ホールA

入場無料　先着150名

概要　2013年ごろから従来にはなかったような耐火木造建築が実現したり、建築基準法の大規模木造関連規定が改正されるなど、木造建築をめぐって近年大きな変化がおきつつあります。法令改正では条件はつきますが延床面積3000㎡を超える木造建築、準耐火構造に基づく3階建て特殊建築物が可能になりました。公共建築物のコンペやプロポーザルでも木造や木材活用を前提にしたものが急速に増えており、7～8階建て程度を視野に入れた木造建築技術の開発も盛んになってきました。大規模木造建築の最新の事例も紹介しながら、今後どんな木造建築が可能になっていくか東京オリンピック・パラリンピックが行われる2020年を視野にお話をしていただき、その後質疑・意見交換を行います。

申し込み　5月10日（火）までに一般社団法人新潟県建築士会へファックスかメールで申し込みください。

　　　　　ファックス　025-285-2911 Eメール [kensikai@025arc.net](mailto:kensikai@025arc.net)

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 氏　　　　名 | 所　　　属 | 電話番号等 |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |